

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第6部門第2区分

【発行日】平成17年7月21日(2005.7.21)

【公開番号】特開2002-229079(P2002-229079A)

【公開日】平成14年8月14日(2002.8.14)

【出願番号】特願2001-376842(P2001-376842)

【国際特許分類第7版】

G 0 2 F 1/313

G 0 2 B 6/12

G 0 2 F 1/13

【F I】

G 0 2 F 1/313

G 0 2 F 1/13 5 0 5

G 0 2 B 6/12 J

【手続補正書】

【提出日】平成16年11月26日(2004.11.26)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

第1及び第2の状態を備え、前記第1の状態において、所定の路に沿って光を導くようにした双安定の切り換え可能な導波路であって、

ガイド層を備え、該ガイド層は材料の層を有し、前記材料の分子は、第1の方向に整合されるとき第1の屈折率を備え、及び、前記分子が第2の方向に整合されるとき第2の屈折率を備え、

さらに、前記ガイド層に接触する第1及び第2の面を設け、前記ガイド層は、前記第1及び第2の面間に挟持され、前記第1の面が、前記第1の面に隣接する前記ガイド層の前記分子を前記第1の方向に整合するようにし、及び、前記第2の面が第1及び第2の領域を備え、該第1及び第2の領域では前記第2の面が前記第2の面に隣接する前記ガイド層の前記分子を前記第1の方向に整合するようにし、前記第2の面が、更に、第3の領域を備え、該第3の領域では前記第2の面が前記第2の面に隣接する前記ガイド層の前記分子を前記第2の方向に整合するようにし、及び、第1及び第2の電極を設け、前記ガイド層の前記分子を前記第3の領域と前記第1の面とによって境界づけられた領域内に前記第2の方向に優先的に整合されるようにしたことを特徴とする導波路。

【請求項2】

前記第1の方向が、前記第2の方向に直交するようにしたことを特徴とする請求項1に記載の導波路。

【請求項3】

更に、前記ガイド層の前記分子を前記第3の領域と前記第1の面とによって境界づけられた領域内に前記第1の方向に優先的に整合されるようにした第3及び第4の電極を設けるようにしたことを特徴とする請求項1に記載の導波路。

【請求項4】

前記材料が、液晶を含むようにしたことを特徴とする請求項1に記載の導波路。

【請求項5】

前記第2の面が、前記第3の領域において光に対して透明であるようにしたことを特徴

とする請求項 1 に記載の導波路。

【請求項 6】

前記第 1 及び第 2 の電極が、前記ガイド層の同じ側に配置され、前記第 3 の領域が、前記第 1 及び第 2 の電極の間に配置されているようにしたことを特徴とする請求項 1 に記載の導波路。